

会長就任のご挨拶

岸井隆幸

Takayuki.KISHII

社団法人日本都市計画学会

日本大学教授

このたび皆様のご推挙により第32代の学会長を務めることとなりました。

何卒、よろしくお願い申し上げます。



〈新たな公益法人へ〉

私に課せられた課題としては、先ず、「新公益法人法対応」があると心得ています。準備は着実に進められて参りましたので、できるだけ早いうちに新たな公益法人としてスタートを切りたいと考えます。また、来年度は学会設立60周年の区切りの年でもあります。「新しい公益法人としての出発・設立60周年」を学会が新たな飛躍を遂げる機会と捉え、さらに学会活動の幅を広げてゆきたいと考えます。

〈都市計画の「知のプラットフォーム」構築へ〉

具体的には、日本都市計画学会が「都市計画の知のプラットフォーム」として機能するよう、これまで以上に関係機関との連携を深めてまいります。近年、全国市長会、都市計画協会、都市計画コンサルタント協会、都市計画家協会といった都市計画関連団体と手を携えた活動が活発に行われるようになりました。また、新公益法人としての出発とともに、東北支部の設立が予定され、本部がある関東を除いて全ての地域で支部活動が行われることとなります。

支部での活動を基礎にしながら、学生、専門家、自治体、市民を結びつけるプラットフォームを力強く構築してゆきたいと思っております。そのためにも、会員各位の学会活動への積極的な参加を是非お願いしたいと思っております。

〈国際的連携の強化を〉

また、今年8月には奈良で国際都市計画シンポジウム2010の開催を予定しております。世界が小さくなった今日、「より広い視野で世界の都市を見る」ことが重要であることは言うまでもありません。学会としても世界各地の都市計画関係組織との連携を深めて国際的な視野にたった活動を展開してゆきたいと考えています。

〈基礎固め「人の輪」を〉

最後に、極めて重要な学会活動の基礎固めについてお願いをしたいと思います。現在、学会員ではない都市計画CPD会員の方が相当数いらっしゃいます。こうした方々に魅力的な学会活動の場を提供し、一人でも多くの仲間を増やしたいと思います。是非、同じ職場にあってまだ学会員となっていない皆様にお声がけをしていただき、学会の基礎である「人の輪」を広げてゆきたいと思っております。

私自身は微力ではございますが、新たな役員の皆様と力を合わせて、精一杯努めさせていただきますので、よろしくご協力のほどお願い申し上げます、